

西脇市における調査結果の概要

調査実施日：令和5年4月18日(火)

西脇市教育委員会 学校教育課

調査の目的 ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査対象 小学校6年生、中学校3年生

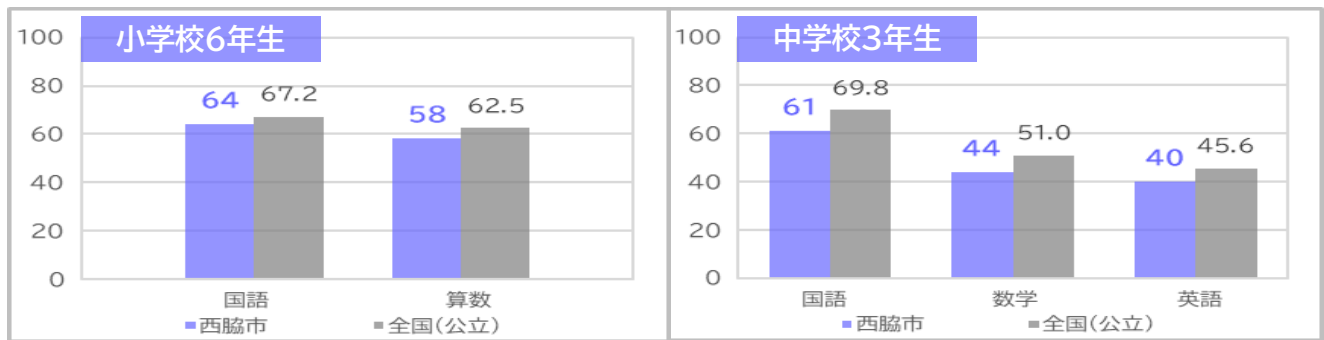
調査内容 ①教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)
 ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

令和5年度全国学力・学習状況調査の西脇市における調査結果について公表します。この結果を受け、今後の本市の教育施策や学校の取組に生かしながら、本市教育を一層充実させてまいります。

なお、この学力調査の結果は、子どもたちが身に付けるべき学力の一部であり、これによって子どもたちの全てを評価できるものではありませんので、ご理解をお願いいたします。

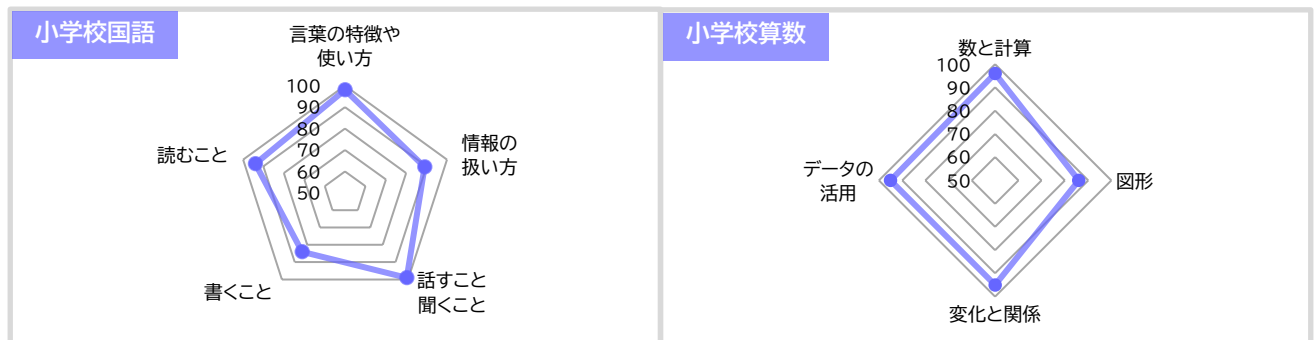
西脇市の子どもたちの学力と全国値

平均正答率(%)による結果の概要



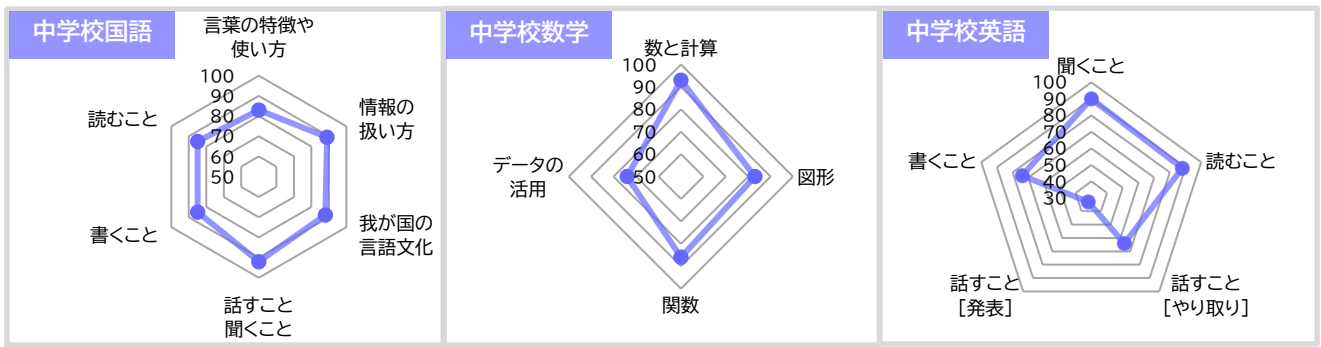
小6、中3ともに、全教科で平均正答率が全国より下回る結果となりました。共通して見られた課題は、文章や情報の読み取り、情報と情報の関連付け、論理的に記述することでした。課題から明らかになっている情報を得て読み解く「読解力」は、学校の学習はもちろん、受験や仕事、生活の中で今後益々重要な力になります。今後は、市教育委員会と学校が一層の連携強化を図り、市内共通テーマである「読解力向上」の研究を進めるとともに、授業や家庭学習において、1人1台端末の日常的な活用を推進します。そして、ご家庭との協働により、一人ひとりの子どもたちに「みたい！ききたい！学びたい！」といった学びに向かう「資質・能力」を、粘り強く育てまいります。

各教科、領域別の状況 [成果(○)と課題(●)] ※全国平均を100として西脇市平均と比較しています。



- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること
 - ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができること

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができること
- ・正三角形の意味や性質について理解していること
 - ・台形の意味や性質について理解していること
 - ・百分率で表された割合について理解していること
 - ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ること

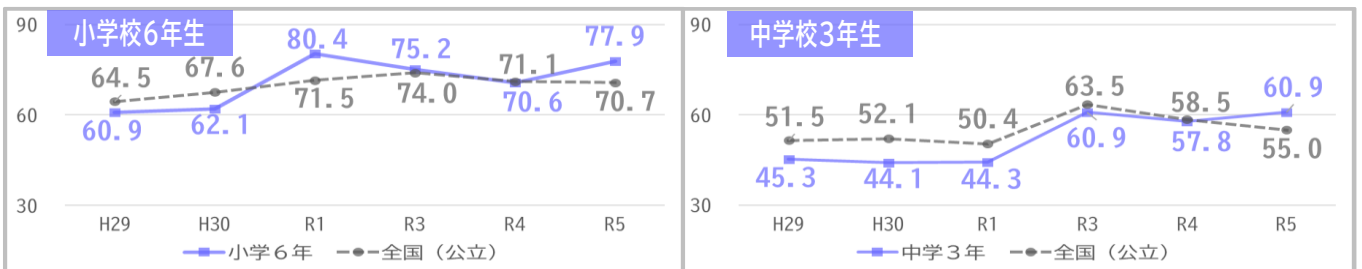


○話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問すること
 ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること
 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること

○数と整式の乗法の計算ができること
 ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉えること
 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること

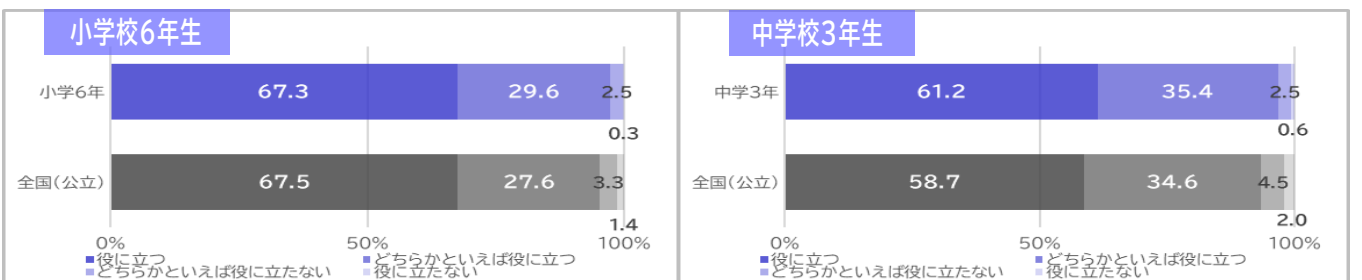
○情報を正確に聞き取ること
 ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること
 ・知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けていること

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



小中ともに、「家で計画を立てて勉強をしている」と回答した割合が全国値を上回りました。ご家庭において、子どもたちへの励ましの声かけや学習に集中して取り組める環境づくりにご協力いただいている成果が表れています。更に、子どもたちが生涯にわたって自ら学び続けられる力を身に付けるために、自分で学んでいく方法を支援し、宿題や自主学習を楽しんで取り組むことができる学習環境を提供していきます。1人1台端末を活用することで、「ドリルパーク」から教科の学び直しや予習をしたり、「NHK for school」から興味のあることを調べたり、子どもたちが自ら学んでいけるようタブレットの持ち帰りによる家庭学習の充実を進めます。

学習の中で、ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



小中ともに、「ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ」と回答した割合が全国値と同程度でした。1人1台端末が授業の中で活用されることにより、子どもたち自身に、端末は勉強に役立つという意識が育まれています。1人1台端末を日常的に活用している学校では、「教師主体の授業」が減り、子どもたちが個々に適した内容を学び、議論しあう「子ども主体の授業」が主流となり始めています。子どもたち自ら学び続けられる力を育むために、授業において1人1台端末を日常的に活用し、子どもたち一人ひとりが最大限に成長できる授業改革を進めます。

保護者の皆様へのお願い

(令和5年度「兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり」リーフレットより)

確かな学力の定着には、授業の充実とともに、家庭における学習習慣や基本的な生活習慣を身に付けることが必要になります。子どもたちが自立し、ころ豊かに成長できるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- 家庭学習 子どもが落ち着いて家庭で学習できるように、励ましの声かけをして、がんばりを認めている。
- ネット利用のルール作り スマートフォンやパソコン等について、子どもと話し合ってルールを決めている。
- 家族とのふれあい 食事を一緒にとったり就寝前の時間を利用したりして、学校での出来事や勉強等について話し合っている。
- 読書習慣 絵本の読み聞かせや一緒に図書館へ行くなど、読書する習慣づくりをしている。